

カリキュラム

機構施設名： 静岡職業能力開発促進センター
 実施機関名： 合同会社ヤオヨロズテック

26-22-12-133-081

A. バックオフィス	133 Pythonを活用した事務業務の効率化
新技術活用	

コースのねらい	自社の業務負担を軽減することを目指して、定型業務の自動化を実現するためのPythonの活用法を習得する。
---------	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	日 程		
				月 日	時刻	
講 義 内 容	1	Pythonの基本知識	(1) Pythonってなに? ・Python(パイソン)は、世界中で最も人気のあるプログラミング言語のひとつです。「パソコンに仕事のやり方を教えてあげる」ためのことばだと思ってください。難しい知識は不要です。日常業務で「この作業、毎回同じことの繰り返しだな…」と感じている方にぴったりのツールであることを紹介します。【事例紹介】	0.5	令和8年 12月3日(木)	9:30~16:30 昼休憩 11:45~12:45
		(2) Pythonの「ことば」を覚えよう ・Pythonで使う基本的な「ことば」(変数・条件分岐・ループ)を、身近な例え話を使ってわかりやすく解説します。例えば「もし…なら…する」「…を繰り返す」といった、日本語でもおなじみの考え方で理解できます。【事例紹介】	0.5			
		(3) スマホでPythonを動かしてみよう ・お手持ちのスマホを使って、実際にPythonを動かしてみます。特別なアプリのインストールは不要で、インターネットブラウザだけですぐに始められます。「自分で書いた命令でコンピュータが動く」体験をしてみましょう。【スマホ演習】	1.0			
	2	業務で使えるPython自動化基礎	(1) 面倒なファイル作業を自動化しよう ・毎日の業務で発生する「ファイルの移動・名前の変更・整理」などの単純作業を、Pythonで自動化する方法を解説します。「フォルダを開いて、ファイルを選んで、別のフォルダに移動して…」という手作業から卒業しましょう。【デモ】	0.5		
		(2) 便利な道具(ライブラリ)を使ってみよう ・Pythonには、世界中の人たちが作った便利な「工具箱(ライブラリ)」が豊富に揃っています。難しい処理も、この工具箱を使えば短い命令で実現できます。代表的なライブラリとその使い道を紹介しします。【スマホ演習】	1.0			
		(3) データの集計を一瞬で終わらせよう ・売上データや在庫リストなど、日常業務で扱うデータの集計・分析をPythonで自動化する方法を解説します。Excelで何時間もかかっていた集計作業が、たった数行のプログラムで完了することを体験します。【デモ】	0.5			
	3	Python活用業務	(1) データをグラフにしてみよう ・集計したデータを見やすいグラフに自動で変換する方法を解説します。上司への報告や会議資料で「数字の羅列でわかりにくい」を解決。見た目で伝わる資料をサッと作れるようになります。【デモ】	0.5		
		(2) 報告書(PDF)を自動で作ろう ・日報や月次報告書など、毎回決まった形式で作成する書類をPDFとして自動出力する方法を解説します。「データをまとめて、書類を作って、保存する」までをボタンひとつで完了させるイメージをお伝えします。【事例紹介】	0.5			
		(3) 「うまくいかない」ときの対処法と活用のコツ ・Pythonで「うまくいかない」ときの対処法(エラーメッセージの読み方・検索のコツ)を解説します。また、本日学んだ内容を自社の業務にどう活かせるか、実際の活用事例(日報の自動処理・ファイル整理・月次レポート作成)を紹介し、明日からの業務改善につなげます。【スマホ演習】	1.0			
			合計時間	6時間		

カリキュラム作成のポイント	<p>・働く環境の変化や日本の現状、活用できるITテクノロジー、DXの最新動向を理解した上で、身近な課題と照らし合わせながらIT活用するための知識習得を図ります。一方的な知識ではなく、双方向や演習を通じて、現場で実践活用できるようになるための演習を挟みます。</p> <p>・具体的には、基本的なPythonができること・できないことをイメージしやすいように事例や実体験を用いて解説し、演習と講師からの質問をすることで受講者の理解状況を把握して進め、解説については専門用語は多用せず、分かりやすい例えを使い理解を促します。</p> <p>・Python活用を便利にするITツール(生成AIなど)をその場で仕様や使い方を表示して実際の動きを見てもらったり、低コストでリスクリソグに使えるサービスなど活用できるツールを即実践できるように紹介します。</p>
---------------	--